

## 甲府市上下水道事業懇話会 これまでの主な意見

### 1 安心・快適な生活環境の創造（水源保全・水質保全等）

- ➡ 甲府の水はおいしい。蛇口からそのまま水を飲めることは自慢できる。市民に効果的なPRをしたほうが良い。
- ➡ 水源涵養林は、事業を継続していく上で大切なもの。大学との連携研究結果を周知する必要がある。
- ➡ 水源保全が認知されていないのは残念。昇仙峡の上流域の写真や動画をいつでも見られるようにしたらどうか。PRの仕方を検討する必要がある。
- ➡ 甲府市は良い水源を持っている。安全な水を将来に向けた大切に使用していただくようなPRが必要。
- ➡ 表流水と地下水の2水源を有効的に活用できるのはすばらしい。
- ➡ 恵まれた水資源のことを前面に打ち出し、住みやすい環境をPRしたらどうか。
- ➡ 下水道未接続で悪臭等の問題もある。接続推進を。

### 2 危機管理対策の充実（危機管理体制、施設の耐震化等）

- ➡ 液状化に対する対策を他の市町村に遅れをとるようなことにならないよう進めてもらいたい。内水氾濫対策。
- ➡ 経営計画期間中に発生した東日本大震災や熊本地震の教訓を経営戦略に盛り込む必要がある。テロ対策を含め危機管理に万全を。
- ➡ この10年で大規模地震や異常気象などへの対応が必要なことは皆さん理解していると思う。縮小均衡させれば良いという問題でもない。需要減少や施設の耐震化等の状況についてPRすることで、料金値上げについて理解を得ることで、満足度と相反することなく価格転嫁できるのでは。

### 3 持続可能な事業経営（収納率向上、有収率向上、広域化、適正な料金等）

- ➡ 収納率の向上対策
- ➡ 漏水量が多い有収率向上対策を。
- ➡ 水の有効利用を（漏水対策も必要か）
- ➡ 下水道の有収率が低い。処理した水の半分しか使用料がとれない。
- ➡ 水道・下水道とも有収率が低いのは、施設の老朽化に要因があるので計画的な修繕や更新を
- ➡ 民営化は全てうまくいくとは限らない。安かろう悪かろうになってしまうこともある。
- ➡ 近隣水道事業者と連携して、山梨県内の市町村をリードするくらいの気持ちが必要。

- 膨大な施設を償却するのに費用がかかっている事を周りの人たちは知らないで料金が高いと感じている。経営状況を広く伝えて、高いイメージをなくす努力を。
- 人口減少による需要の低迷で今後の10年は、独立採算での安定した経営を維持するのが難しくなってくる。

#### 4 満足度の高いお客様サービスの向上（情報提供、サービス等）

- 公営企業会計は、理解が難しいので市民に解りやすい情報提供を。
- 下水道事業は、水道事業に比べて市民から理解されにくい、使用した水をきれいにして川を戻すために、どれだけの費用が掛かるのか等、市民に段階的に理解してもらうような分かりやすいPRを積極的に行う必要がある。
- 甲府のおいしい水を飲め、使った水は下水道を通ってきれいになる。水に対する高い意識を甲府市民の方々に持ってもらえるようになれば。
- 市役所の入り口に甲府の水の商業パネルを掲示したらどうか。
- 甲府の水を市役所や駅に置くなどPRに工夫をしたらどうか。

#### 5 環境と社会に配慮した事業の推進（新エネルギーの活用等）

- 下水道のエネルギーを再利用する取り組みも必要。研究機関や大学との連携を考えてみてはどうか。